

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人智帆学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
那覇校 医療専門課程	理学療法学科		3315 時間	240 時間	
	理学療法学科	夜	3135 時間	240 時間	
金武校 医療専門課程	作業療法学科		3225 時間	240 時間	
	理学療法学科		3315 時間	240 時間	
	メディカル柔道 整復学科		2760 時間	240 時間	
	こども保育リハビリ学科こども 保育リハコース		1780 時間	160 時間	
教育・社会福祉 専門課程	こども保育リハビリ学科		1715 時間	160 時間	
	こどもリハビリテーション 専攻科		800 時間	80 時間	
文化・教養課程	リゾート観光学科		2040 時間	160 時間	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.ryukyu.ac.jp/ 学院ホームページ公開情報に記載

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人 智帆学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ： http://www.ryukyu.ac.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2025年4月1日 から2年	医療福祉関連会社 を運営する立場か らの助言・指導
非常勤	学校経営者	2025年4月1日 から2年	学校経営する立場 からの助言・指導
非常勤	学校法人代表理事	2025年4月1日 から2年	他の学校法人を経 営する立場からの 助言・指導

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人智帆学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各学科において、全ての科目のシラバスを年度開始前に作成している、同シラバスには、授業の方法、内容、目標、評価方法などを記載している。	
授業計画書の公表方法	http://www.ryukyu.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文等の適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績により、実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA, 70点以上をB, 60点以上をC, 60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.ryukyu.ac.jp/ : 学院HPに公表
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 理学療法学科、作業療法学科、メディカル柔道整復学科において3年、こども保育リハビリ学科、リゾート観光学科では2年以上在学し、本学院の定める学生納付金を全額納付し、かつ所定の授業科目の単位を修得した学生について、教務会議を経て学院長が卒業を認定する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	授業科目の成績評価に基づき、課程修了の認定を行う。 http://www.ryukyu.ac.jp/ : 学院HPに公表

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	琉球リハビリテーション学院
設置者名	学校法人智帆学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ryukyu.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	http://www.ryukyu.ac.jp/
財産目録	http://www.ryukyu.ac.jp/
事業報告書	http://www.ryukyu.ac.jp/
監事による監査報告（書）	http://www.ryukyu.ac.jp/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門	理学療法学科那覇校		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	単位時間／3315 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		76 人	1 人	6 人	5 人		11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	0 人 (0%)	16 人 (76%)	5 人 (24%)
（主な就職、業界等）病院、高齢者施設等			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））理学療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	8 人	9%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門	理学療法学科那覇校		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	夜間	単位時間／3135 時間	単位時間 /単位	単学子位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
120 人		44 人	0 人	5 人	6 人		11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要））授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	0 人 (0 %)	18 人 (80%)	4 人 (20%)
（主な就職、業界等）病院、高齢者施設			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））理学療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	6 人	9 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	作業療法学科金武校	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	単位時間／3225 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		59 人	0 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年度の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (67%)	6 人 (33%)
（主な就職、業界等）総合病院、精神科病院、高齢者施設、障害者施設等			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））作業療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	4 人	0, 06 %
（中途退学の主な理由）進路変更、体調不良		
退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門	理学療法学科金武校		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼間	単位時間／101 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
180 人		148 人	0 人	10 人	0 人		10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55 人 (100%)	0 人 (0%)	44 人 (%)	11 人 (22%)
（主な就職、業界等）病院、高齢者施設			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））理学療法士、保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	10 人	0, 06%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	メディカル柔道整復 学科柔道整復学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	単位時間／2760 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		45 人	0 人	6 人	9 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。			
成績評価の基準・方法			
（概要））授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考査及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。			
卒業・進級の認定基準			
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。			
学修支援等			
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (91.6%)	1 人 (0,84%)
（主な就職、業界等）接骨医院、病院			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））柔道整復師			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
64 人	14 人		21,8%
（中途退学の主な理由）			
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。			

学科等の情報分野

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
福祉		教育・社会福祉		こども保育リハビリ学科 こども保育 リハビリコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
	講義			演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	単位時間 1780 時間		単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
	単位時間／単位								
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80人		29人	1人	3人		5人		8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年度の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要）授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	14 人 (63, 3%)	8 人 (36, 3%)	1 人 (0, 04%)
（主な就職、業界等）認定こども園、保育園、幼稚園			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））保育士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
福祉		教育・社会福祉	こども保育リハビリ 専攻科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼間		単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
1 年		単位時間／800 時間	単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		14 人	0 人	1 人	3 人	4 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。							
成績評価の基準・方法							
（概要））授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を 100 点として、80 点以上を A, 70 点以上を B, 60 点以上を C, 60 点未満を D と表記し、ABC を合格とし D を不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。							
卒業・進級の認定基準							
（概要）3 年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。							
学修支援等							
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。							

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等）認定こども園、保育園、幼稚園			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養			リゾート観光学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間／2040 時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2年のみ 人		1人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）シラバスを年度開始前に作成、授業方法、内容、目標、評価方法を説明。
成績評価の基準・方法
（概要））授業科目についての学生に対する学習の評価は、講義については学力考查及び平素の学習成績による。実習については実習報告及び平素の実習先の指導者による評価を含め総合態に判定する。評価は、満点を100点として、80点以上をA、70点以上をB、60点以上をC、60点未満をDと表記し、ABCを合格としDを不合格とする。評価方法は、シラバスに記載している。
卒業・進級の認定基準
（概要）3年以上在学し、本学院の定める学生納付金等を全額納付しかつ所定の授業科目の単位を取得した学生について、教務会議の義を経て学院長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要）学習支援委員会を設置して、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期の相談及び個別指導等。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）学内にキャリア支援室を設け、マナー講座、履歴書添削、面接指導等を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）学習支援委員会を設置し、問題を抱える学生及び父兄と面談し、早期に相談及び個別指導等野学習支援を実施している。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
作業療法学科 昼間主	150,000 円	1,000,000 円	450,000 円	
作業療法学科 夜間主	150,000 円	900,000 円	400,000 円	
理学療法学科 昼間主	150,000 円	1,000,000 円	450,000 円	
理学療法学科 夜間主	150,000 円	900,000 円	400,000 円	
メディカル柔 道 整復学科	150,000 円	900,000 円	450,000 円	
こども保育リ ハビリ学科	100,000 円	500,000 円	100,000 円	
リゾート観光 学科	100,000 円	600,000 円	200,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.ryukyu.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 地域関係者や教育関係者等による学校関係者評価委員会運営し、教育課程や進路指導等 に関して学院が行う自己評価を行い、自己評価結果の客観性、透明性を高め、学校運営 の改善のための助言を得ること、尚、印との学校関係者評価委員会を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
沖縄県専修学校各種学校協会	2022 年 9 月～3 年間	専修学校団体
KIN スポーツ・整形クリニック	2022 年 9 月～3 年間	地域関係者
卒業生同窓会	2022 年 9 月～3 年間	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.ryukyu.ac.jp/		
三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
